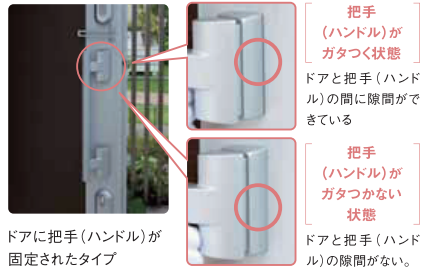


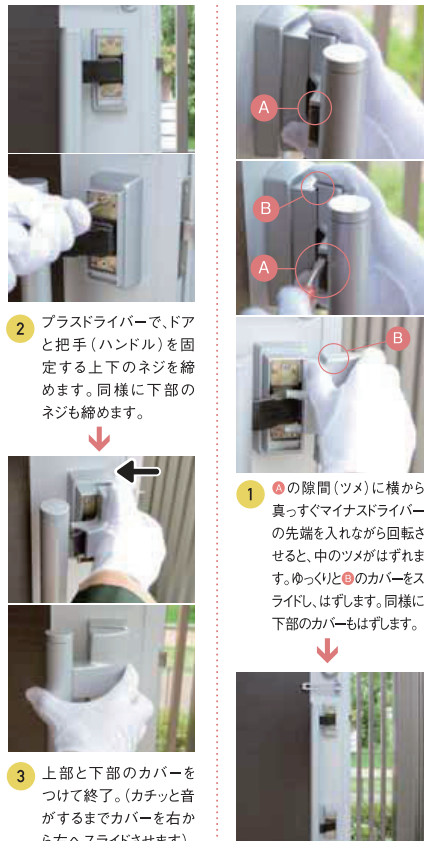
[ ② ドアの把手(ハンドル)のガタつきが気になる場合 ]

一体型の調整方法

[ 用意するもの ] ・マイナスドライバー ・プラスドライバー ・手袋



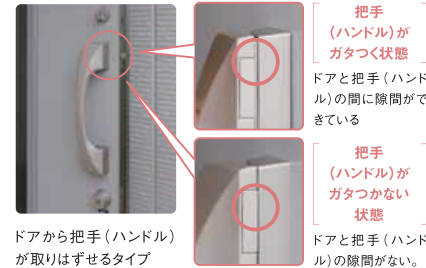
ドアに把手(ハンドル)が固定されたタイプ



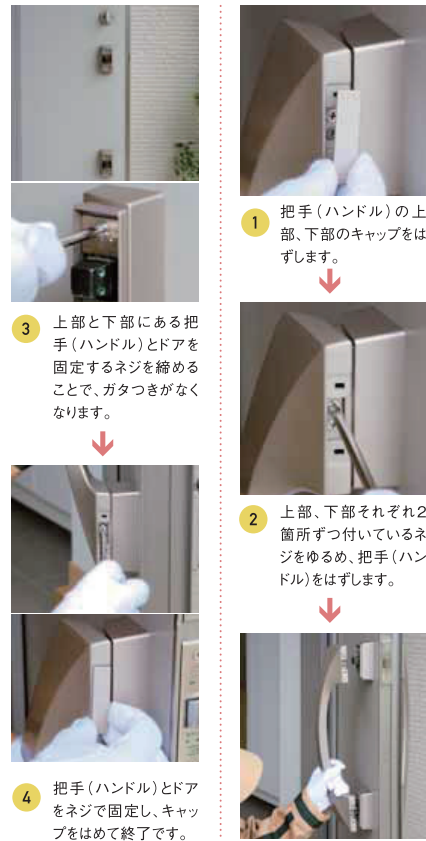
3 上部と下部のカバーをつけて終了。(カチッと音がするまでカバーを右から左へスライドさせます)

セパレート型の調整方法

[ 用意するもの ] ・プラスドライバー ・手袋



ドアから把手(ハンドル)が取りはずせるタイプ



4 把手(ハンドル)とドアをネジで固定し、キャップをはめて終了です。

玄関ドアのお手入れ

① シリンダー錠(外側)・サムターン(内側)のかがりが悪くなった場合

② ドアの把手(ハンドル)のガタつきが気になる場合

毎日開閉する玄関ドア。長年使用しているとちょっとした不具合も生まれてきますが、そのほとんどがセルフメンテナンスで調整できることが多いのも事実です。「ドアハンドルのガタつきが気になる」「鍵のかがりが悪いな」などと感じたら、早めにお手入れすることが玄関ドアをよい状態に保つ秘訣です。

※ご使用前に必ず、製品の取扱説明書および注意事項をお読みください。

PROFILE  
【技術監修】

トヨタホーム アフターサービス担当  
DIYアドバイザー

植月 英貴

玄関ドアは、防犯上もっとも大切な部位。鍵がかりにくいなどの問題はすぐに対処しましょう。また、キレイにお掃除したり、庭木の剪定をして玄関まわりを見通し良くすることで犯罪の予防につながります。

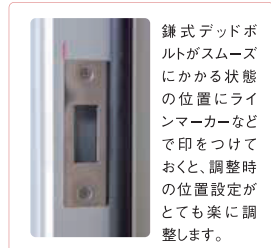


[ ① シリンダー錠(外側)・サムターン(内側)のかがりが悪くなった場合 ]



3 ストライクの上下のネジをぐらぐらにならない程度に(半回転)ゆるめ、鎌式デッドボルトがスムーズにかかる位置までストライクをずらし、ネジを締め固定します。 ※ストライクのネジは絶対にはずさないでください。

4 下部の鎌式デッドボルトのかがりが悪い場合も同様に調節します。



⚠ ストライクのネジは絶対にはずさないでください。ストライクの構造上ネジをはずしてしまうと裏側の止め金具まではずれ、ストライクが固定できなくなります。

ストライクの調整方法

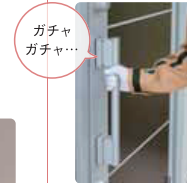
[ 用意するもの ]  
・プラスドライバー ・手袋



1 玄関ドアのストライクは鎌式デッドボルトがかかる位置に設定されています。



2 長年の使用や、鍵が開まっているかどうかを確認する(ドアをガチャガチャさせる)行為で、その位置がずれてきます。



鍵を閉めた後、確認のため、つい何度もドアを引いたりしていませんか? そのクセも鍵のかがりが悪くなる原因です。

■ 玄関ドア錠の名称



■ 玄関錠のかがりが悪くなった状態

